



2024年1月15日

各位

上場会社名	東京産業株式会社
代表者	代表取締役社長 蒲原 稔
(コード番号	8070 東証プライム)
問合せ先責任者	取締役企画本部長 田沢 健次
(TEL	03-5203-7841)

外部調査委員会への新規調査の委嘱に関するお知らせ

当社は、2023年11月8日付け「外部調査委員会設置に関するお知らせ」及び2024年1月15日付け「外部調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、当社が関連する太陽光発電（メガソーラー）案件に係る長期未収入金の回収可能性の評価等について外部調査委員会を設置して調査（以下「当初調査」といいます。）を実施し、本日中間調査報告書を受領したところです。この度、2024年3月期第2四半期決算の過程で、当社が元請として受注する別の太陽光発電工事請負案件において、追加工事に係る費用負担に関連して工事原価の増額に伴う工事原価総額の見積り変更が適切に処理されていない可能性があるという新たな事実と疑いについての新規調査（以下「新規調査」といいます。）の必要性が判明したため、本日開催の取締役会において当初調査を委嘱している外部調査委員会へ新規調査の実施についても追加して委嘱することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

株主の皆様、お取引先をはじめとする関係者の皆様に、多大なる心配とご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 外部調査委員会への新規調査の委嘱について

この度、当社が元請として受注している太陽光発電（メガソーラー）工事請負案件（以下「本発電案件」といいます。）において、過年度より多額の追加費用を要する追加工事が発生しており、当該追加工事に係る費用負担について発注者との間では追加費用として見込まれる金額の一部のみを発注者が負担する旨の大枠の合意が2023年6月にはなされていたと考えられるところ、一次下請の施工会社は二次下請への支払いもできず工事遂行が不可能なほどに資金繰りに窮している状況（以下「本件」といいます。）を認識しました。

現在事実関係を含め精査中ですが、発注者が負担に応じる額を超える追加工事費用について、一次施工会社が資金繰り上の問題により負担できない場合には当社がこれを少なくとも一定程度負担しなければならない可能性があると考えられることから、当社としてはいわゆる工事進行基準を適用している本発電案件において工事原価の増額に伴う工事原価総額の見積り変更が適切に処理されていたかについて、本件を踏まえ改めて検討が必要と認識しており、当社会計監査人からもそのように指摘をいただきました。

そこで、本件について事実経緯の正確な把握と当社財務諸表等への影響額の算定等を行うには、より客観的かつ公平な視点・立場から十分かつ適切な調査を実施する必要があるとの判断から、当初調査を担当しており、当社とは利害関係を有しない外部の弁護士及び公認会計士を委員とする外部調査委員会に、新規調査についても追加して委嘱することを、本日開催の取締役会において決議いたしました。

2. 外部調査委員会への委嘱の目的

- (1) 本件に係る事実関係の調査及び追加工事の必要性が発生した時点以降における工事原価総額の見積り変更の要否等に関する当社の管理・検討状況の調査
- (2) 本件に類似する事象の有無の調査
- (3) 上記各号の調査結果を踏まえた当社財務諸表等への影響の検討
- (4) 工事原価の増額に伴う工事原価総額の見積り変更が適切に処理されていなかったと認められた場合、その原因の究明及び再発防止策の検討・提言
- (5) 上記各号の事項を遂行した結果に基づく調査報告書の作成及び当社への提出
- (6) その他外部調査委員会が必要と認めた事項

3. 外部調査委員会の構成

委員長：中原 健夫（弁護士 弁護士法人ほくと総合法律事務所）

委員：倉橋 博文（弁護士 弁護士法人ほくと総合法律事務所）

委員：井上 寅喜（公認会計士 株式会社アカウンティング・アドバイザー）

※ 既存の外部調査委員会の構成からの変更はありません。

4. 今後の対応について

当社は、外部調査委員会による新規調査に全面的に協力し、早急に調査を進めてまいります。2024年1月15日付け「外部調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしたとおり、本日、当初調査については、原因分析及び再発防止策の提言を除く事実認定等の部分に関する中間調査報告書を受領しております。新規調査には2ヶ月程度の調査期間を見込んでおり、新規調査の終了後には、当初調査における原因分析及び再発防止策の提言も含めた両調査を合わせた調査結果の報告を受領する予定をしておりますので、外部調査委員会から調査報告書を受領次第、速やかな開示その他必要な対応を行ってまいります。

以上